

FINEFINET[ファイン・ファイネット] 酒類・加工食品業界の業務効率化と標準化推進をめざす

FINE FINET

2025
Vol.69
September

ファイネット発行

FINET User's Voice

卸売業や小売業などお取引先様に対する
割戻金送金案内書の
印刷・封入・郵送のコストを削減

味の素AGF株式会社様

TOP
MESSAGE

社長就任にあたって

特集

状況が日々変わる情報セキュリティの傾向と対策
企業規模に関係なくサイバー攻撃の対象が拡大
対策の鍵はアカウント管理と社内外の情報共有

[FINET INFORMATION]

ファイネット手続きサイトがリニューアル

連載

森井ユカの
スーパーマーケット漫遊記

株式会社ファイネットの社長就任にあたり、ご挨拶を申し上げます。

弊社は、1986年4月の発足以来、業界における「情報系共有インフラ」として、安全性と利便性の高いデータ交換サービスを提供すべく、情報基盤の改善・充実に取り組み続けてまいりました。変化の激しい市場環境の中で、40年近くにわたって事業を継続してこられたのは、弊社の活動にご理解とご協力をいただいております会員企業各社の皆さまや、酒類・加工食品業界発展のために尽力されておられる関係各位のおかげであり、心より感謝申し上げます。

世界情勢の不安定さに加えて、米国の政策による経済減速のリスクもあり、地球規模で先行きが不透明な状況が続いている中、弊社は2023年に新規サービスとしてリリースした「ファイル配信

サービス」の機能強化・利用拡大や、業界課題としての加工食品サプライチェーンにおける統合データプラットフォーム構築に向けたDPC協議会の推進に取り組むなど、引き続き業界の標準化・効率化に向けて全社一丸となって取り組んでまいります。

今後とも、皆さまのより一層のご支援・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

株式会社ファイネット
代表取締役社長

栗田晋吾

味の素AGF株式会社 様

卸売業や小売業などお取引先様に対する 割戻金送金案内書の 印刷・封入・郵送のコストを削減

「ブレнди」や「マキシム」などのコーヒーをはじめとする嗜好飲料を中心に事業展開されている味の素AGF様。従来、多大な作業負担とコストを要していた卸売業や小売業などのお取引先様に対する割戻金送金案内書の送付業務に、ファイネットの「ファイル配信サービス」を採用。郵送代行オプションも併用し、印刷・封入・郵送の作業並びにコストの大幅な削減を実現しました。

(本文中敬称略)



※AGF鈴鹿駐在のハツ木様と長嶺様はオンライン参加

割戻金送金案内書の送付業務が 大きな負担に

—— 味の素AGF様の事業についてお聞かせください。

北澤 当社は、コーヒーをはじめとする嗜好飲料とギフトを通して、一人ひとり

のお客様に、いつでもどこでも、最高のおいしさで一杯の価値を提供する嗜好飲料メーカーを目指しています。掲げるコーポレートスローガンは「いつでも、ふう」。「ふう」とするひとときを提供して、ココロにゆとりが生まれる時間をお届けする。そのゆとりは、前を向くための大切な時間です。

この「ふう」があふれる社会に向けた

事業を展開していくというのが、味の素AGFの理念です。



味の素AGF株式会社
営業戦略部
営業基盤進化グループ
グループ長

北澤 泰昭 様

—— 御社の「送金案内書」の送付に関わる業務での課題について教えてください。

倉内 当社は、販売促進に関する施策の一環として、お取引先様との間で、商品代金の一部を割戻金としてお支払いしています。割戻金は、お取引先様からの請求書に沿ってお支払いしますが、その振込に際して、金額の内訳などを記した「送金案内書」を印刷・封入の後、郵便局に持ち込んでお取引先様に送付していました。数にして毎月1,000枚以上の紙をおよそ350カ所に郵送していました。



味の素AGF株式会社
営業戦略部
営業基盤進化グループ
参事

倉内 聡行 様

築藤 当社ではコロナ禍を経て、従業員のリモートワークの実践へとかじを切りました。そのため、担当者が出社が前提となる業務のDX推進が、切実なテーマとなっていました。そこで、2023年10月よりインボイス制度が開始されるのを契機に、他の紙ベースの業務に併せて、送金案内書の送付に関わる業務をペーパーレス化することを決定しました。



味の素AGF株式会社
営業戦略部
営業基盤進化グループ
主任

築藤 裕太 様

業界標準のEDIサービスを提供する企業に大きな安心感

—— 御社では、ペーパーレス化による、送金案内書を業務とする担当者の人的負荷低減、コストの削減、リモートワークの実践を念頭に、ファイネットの「ファイル配信サービス」を導入されました。導入に至る経緯や選定のポイントをご紹介ください。

渡部 もともと当社では、卸売業や小売業といったお取引先様との商取引のEDI基盤として、ファイネットが提供する商品流通VANサービスを活用してきました。そうした経緯もあって、ファイネットより以前からファイル配信サービスについての案内をいただいていた。

実際の選定に当たっては、同様のペーパーレス化を支援する他社サービスとの比較検討も行いました。その結果、2023年10月頃にファイネットのファイル配信サービスを選定しました。



味の素フィナンシャル・ソリューションズ株式会社
グループ会社会計部
決算・BPOグループ
マネージャー

渡部 正和 様

築藤 選定のポイントとしてまず挙げられるのが、コストメリットの大きさです。他社のサービスには月額固定料金がありましたが、ファイネットのサービスは月額の固定料金がなく、「送信通数」に基づいて料金を算定します。お取引先様への送金案内書がそれなりの枚数であったとしても、あくまでも1通として料金が算定されるため、大幅なコストの低減が期待できました。

倉内 もう1つ重要なポイントとなったのが、サービス提供元のファイネットが、酒類・加工食品業界における標準といえるサービスを提供している企業だということです。当社はもちろん、お取引先様の多くがファイネットのEDIサービスをすでに活用しており、現行システムへの適用や将来に向けた拡張性についての安心感が大きかったです。それは当社、お取引先様の双方にメリットをもたらすものと考えました。

—— ファイル配信サービスの導入に向けたプロジェクトの体制について教えてください。

平野 プロジェクト全体は営業戦略部

及び財務・経理部がけん引し、プロジェクトの管理やお取引先様への案内、マスターデータの整備に取り組みました。財務・経理部は、送金案内書のインボイス制度に照らした法制視点からのチェックも行っています。

また、サービスの導入に伴う、基幹システムからファイル配信サービスへのデータ送信の仕組みは、DX推進部とSIパートナーの協力により構築しました。DX推進部が開発全体を管理し、保守性を見据えたシステムの実装を心がけました。最終的に、基幹システムから抽出されたデータがファイル配信サービスへと送信され、生成された送金案内書が電子ファイル(PDFファイル)としてお取引先様に公開されるという一連の過程を、営業戦略部並びに財務・経理部を含むプロジェクトメンバー全員で確認し、2024年4月のリリースにこぎ着けました。



味の素AGF株式会社
DX推進部
IT企画グループ
主任

平野 達紀 様

—— お取引先様に対する、ファイル配信サービス導入のご案内は、どのように進めましたか。

築藤 2023年12月～2024年2月に郵送した送金案内書に、ファイル配信サービスの利用を開始する旨を記した案内状を同封してお取引先様に告知しました。案内状は、ファイネットから提供いただいたテンプレートを基に作成しました。

また、送金案内書の公開を通知するメールアドレスなど、必要な情報の収集は、Googleフォームで入力いただける仕組みを用意しました。

その結果、現在までに、約350のお取引先様のうちおよそ半数に、ファイル配信サービスを通じて送金案内書を電子ファイルで受け取っていただいています。

郵送代行オプションの併用で 負荷やコストが大幅削減

—— ファイル配信サービスの導入により得られた具体的な成果をお聞かせください。

ハツ木 ファイル配信サービスによる、お取引先様への送金案内書の公開を開始したことで、インボイス制度に対応した帳票へと円滑に切り替えられたほか、これまで行っていた印刷・封入・郵送といった人的作業が一切不要となりました。

現状、サービスへの移行を完了して電子化されているのは全体の半分ですが、残り半分の郵送での対応が必要なお取引先様に対しては、ファイル配信サービスの郵送代行オプションを活用しています。

郵送代行の利用で、かねて当社が課題としていた送金案内書の印刷や封入、郵送に関わる人的負荷やコストが

大幅に削減されました。

長嶺 これまでは、送付先が変更になった際、マスターデータの変更に加え封筒の宛名ラベルなどの変更も必要であり手間がかかっていましたが、ファイル配信サービスでは送付先マスターを変更するだけで対応が完了します。インターフェースも分かりやすく非常に助かっています。



味の素フィナンシャル・ソリューションズ株式会社
グループ会社会計部
決算・BPOグループ
(AGF鈴鹿駐在)

長嶺 秀俊 様

渡部 これらの作業はお取引先様からの請求書と、発行する送金案内書の内容とを突き合わせるチェック作業と併せて、人材派遣会社が提供するBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)サービスによって、4~5人の人員で賄っていました。

ファイル配信サービスの導入によって送金案内書の印刷・封入・郵送の業務が自動化されたことで、作業に関わるBPOの委託費用が軽減でき、作業に当たる社員にも時間的余裕が生み出されています。

—— 今後に向けた展望やファイネットへの期待についてお話ください。

北澤 今後も引き続き、ファイル配信サービスが提供するペーパーレス化のメリットを、残り半分のお取引先様にも享受いただけるよう、書面や営業担当者を通じた働きかけを行っていきたいと考えています。

ペーパーレス化は今後、いずれの企業にとっても重要なミッションとなることはいうまでもありません。

倉内 酒類・加工食品業界には、割戻金への対応など、業界特有の業務処理が多く存在しますが、そのような処理システムは各社で個別に開発しているケースも少なくありません。

ファイネットには、業界に精通しているEDIサービスのプロフェッショナルとして、そうしたシステム化要望をより詳細にくみ取っていただき、業界各社が共通で抱える課題の解消を実現するようなサービスの提供に、今後もぜひ積極的に取り組んでいただきたいと思います。

—— 期待に沿えるよう引き続き取り組んでまいります。

本日は貴重なお話を聞かせいただきありがとうございました。

●記事内のデータや組織名、役職などは2025年6月3日の取材時のものです。

CORPORATE PROFILE

味の素AGF株式会社

- 代表取締役社長: 島本 憲仁
- 創業: 1973年8月1日
- 本社所在地: 東京都渋谷区

いつでも、ふう。
AGF®

味の素グループのコーヒー・粉末飲料事業の中核会社として、コーポレートスローガンである「いつでも、ふう。AGF®」を実践。「ココロ」と「カラダ」の健康、「人と人とのつながり」、「地球環境との共生」をはじめとするサステナブルな社会の実現を目指し、最高のおいしさで一杯の価値を提供する「日本発の愛される嗜好飲料メーカー」を目指しています。

【味の素AGF株式会社サイト】 <https://agf.ajinomoto.co.jp/>



状況が日々変わる情報セキュリティの傾向と対策

企業規模に関係なくサイバー攻撃の対象が拡大 対策の鍵はアカウント管理と社内外の情報共有



インターネットの利用が広がる一方、懸念されるのがサイバー攻撃だ。近年は企業規模、業種業態に関係なく攻撃の対象範囲が拡大するなど、以前とは状況が異なっている。IT部門や事業部門はどんな対策が求められるのか。JPCERTコーディネーションセンター(JPCERT/CC)の佐々木勇人氏に情報セキュリティの傾向と対策を聞いた。

佐々木 勇人氏

一般社団法人JPCERTコーディネーションセンター 脅威アナリスト 政策担当部長 兼 早期警戒グループマネージャー
筑波大学大学院修了後、2010年から独立行政法人情報処理推進機構(IPA)にて勤務、2013年から経済産業省商務情報政策局情報セキュリティ政策室(現・サイバーセキュリティ課)へ出向、2016年から一般社団法人JPCERTコーディネーションセンターへ入職。国内外のセキュリティ情報の収集、分析及び早期警戒情報や注意喚起などの情報発信業務、関係構築、調整業務に従事。講演等、普及啓発活動にも取り組んでいる。

身代金を奪うランサムウェアなど サイバー攻撃の対象が無差別化

——サイバー攻撃の被害が後を絶ちません。情報セキュリティの専門家として状況をどのように見えていますか。

佐々木 勇人氏(以下、佐々木) 大きく分けて2つの傾向が見て取れます。1つは攻撃対象の広がりです。以前は先端技術を持つ企業や、機密情報、個人情報などを大量に保有する大規模な企業が狙

われやすいといわれていました。ところが、近年は企業規模や業種業態に関係なく攻撃される傾向が強くなっています。例えばランサムウェアの場合、攻撃者は機密情報が欲しいわけではなく、データを暗号化して身代金を奪えればいいのです。収益になるのであればどんな企業でもよく、攻撃対象が無差別に広がっています。

もう1つはネットワーク機器の問題です。コロナ禍でテレワーク、リモート

アクセス用にVPN機器の導入が進みました。そのぜい弱性を突いて攻撃される事案が増えています。以前からこの攻撃手法の危険性は指摘され、機器ベンダーではぜい弱性を修復するセキュリティパッチを提供していますが、パッチを適用せずに攻撃の被害に遭う企業も少なくありません。

VPN機器などのネットワーク機器がランサムウェア攻撃などの侵入経路になるだけでなく、他の攻撃の踏み台に使われるケースも出てきています。

——不正アクセスやマルウェアなどだけでなく、ネットワーク機器から窃取されたユーザーのアカウント情報が、ネットワーク内部や重要なサーバーへの侵害に悪用されるようになっているということでしょうか。

佐々木 はい。VPN機器のアカウント情報を盗み取ったり、上書きしたりすることで、正規のユーザーになりすまして企業ネットワークやシステムに侵入するのです。企業のIT担当者もWebサイトなどのアカウント管理は厳しくしていても、VPN機器のアカウントは簡単なパスワードを設定しているケースも見受けられます。

地道な作業ですが、パスワードの使い回しはやめる、類推されやすいパスワードは設定しないといったアカウント管理の徹底が必要です。

そして、アカウント情報の悪用を防ぐ方法の1つに二要素認証があります。ID、パスワードの他にワンタイムパスワード(パスコード)や本人固有の生体認証などを利用します。二要素認証があれば、IDとパスワードが盗まれて攻撃者が不正侵入しようとしても、侵入が防げる場合は少なくありません。

ユーザーの手間が増える、パスコードなどの認証情報を生成する仕組みのコストがかかるといった理由で導入をためらう企業もあるかもしれません。しかし、近年はオンラインバンキングなどでパスコードの利用が一般的になり、導入

のハードルも低くなっています。アカウント情報の保護は従業員の理解と協力が欠かせません。IT部門による二要素認証の提案に対して、経営層も経営課題としてセキュリティ対策に取り組んでほしいと考えています。

現場を含めネットワーク機器の棚卸を行い適切な対策を講じる

——IT担当者は全社的なネットワーク機器やシステムは把握、管理していても、製造現場などの機器までは把握していないこともあるようです。それがセキュリティリスクになりませんか。

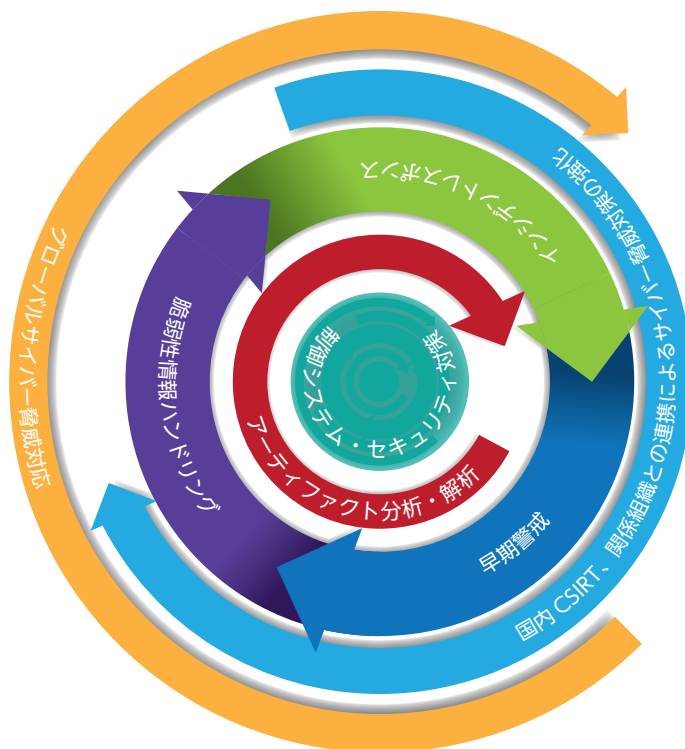
佐々木 工場の生産設備のリモートメンテナンス用としてベンダーがVPN機器を設置することがあるのですが、セキュリティパッチが適用されていないと攻撃の標的になります。工場側の判

断で設置されているためIT部門はVPN機器の存在を知らず、攻撃の原因や経路の特定がなかなか進まないこともあります。

製造業における工場がある種の聖域になっていて、IT部門がネットワーク機器の調査をする際に拠点の責任者から承諾や協力を得るのが難しいという声も聞かれます。実際に調べてみると、リモートメンテナンス用のVPN機器が設置されていたが、IT部門は把握できていなかったという例も見受けられます。

セキュリティ対策は、現場を巻き込んで行う必要があります。とはいえ、中堅・中小企業の場合、大企業のような高度なセキュリティ対策やリソースの投入が難しいのが実情です。被害が多いランサムウェアやVPN機器が踏み台になるケースでは、ネットワークのアクセスログを取得、管理していれば攻撃時の

サイバーセキュリティに向けてインシデントを抑え込む円環



JPCERT/CCでは、コーディネーション活動を通じ、インシデントを抑え込む「予防」と「察知」、「対応」からなるサイバーセキュリティのサービスを提供している。

出典:JPCERT/CC「JPCERT/CCについて」> 事業概要



調査、分析に役立ちます。ランサムウェアは攻撃手法がある程度パターン化されており、攻撃の初動でセキュリティ専門家に相談すれば被害の拡大を食い止めることも可能です。

——IT人材、特にセキュリティ人材が不足する中で、企業はどのように対策を進めればいいのでしょうか。

佐々木 多くの企業では、IT部門は日々のシステム運用で忙しく、セキュリティまでなかなか手が回らないというのが実情でしょう。

ただ、セキュリティ対策といっても、全員に高度なスキルが必要というわけではありません。「アカウント管理の重要性を従業員に啓発する」「インシデント発生に備えた対策手順を策定する」といったことでも構いません。JPCERT/CCのような組織ではインシデント対応の研修なども行っています。相互理解を深めるためにIT部門と管理部門の人が一緒に研修を受けることも効果的です。IT部門は平時のセキュリティ対策に注力し、インシデント発生時には外部の専門家に協力を依頼するのが現実的でしょう。人材確保が難しいのであれば、外部の専門家の力を借りることを考えるべきでしょう。社内の人材

だけで解決しようとする対応が後手に回ります。

業界や地域と連携しガイドラインやインシデント対応の手順を整備

——共通のセキュリティガイドライン策定や研修に取り組む業界もあります。がどのようなメリットがありますか。

佐々木 業界団体ごとにガイドラインなどを作るメリットは2つあります。

1つは業界特有の業務や事情に応じたセキュリティ対策を講じられるだけでなく、それに応じたインシデント対応が可能になることです。もう1つは付随的な効果といえますが、業界の独自規格などの標準化を進める中で、お互いの動きも標準化されていく点です。セキュリティ対策のガイドラインだけでなく、インシデント対応マニュアルを整備する業界団体もあります。

それにより、ある企業でインシデントが発生した際の行動も標準化されるた

め、取引先との関係でもトラブルを緩和したり、回避したりできる可能性があります。取引先、同業他社も事前にインシデント発生時の動きを把握していれば、システムを止めるような判断をする際も理解されやすくなるのではないのでしょうか。

業界として対策のガイドラインを作るだけでなく、セキュリティに対する共通認識を持てることや、知見の共有ができることなど、個別に対策を講じるのに比べ、IT担当者の心理的な負担が減らせる効果も生まれます。ある業界団体では共通システムの標準化部会があり、そのサブとしてセキュリティの勉強会を実施している例もあります。業界団体の他にも地域の企業が集まってセキュリティ対策を進めるなど、業界や地域と連携してセキュリティ対策を行うのもよいでしょう。

セキュリティというと、サイバー攻撃で大きな被害が出たときなど、リスクに関わる出来事に注目が集まるのが一般的です。被害に遭った企業がリリースなどで公表するためです。確かに被害は発生しているのですが、実際にはITやセキュリティの担当者が攻撃をブロックする件数のほうが圧倒的に多いのです。しかし、そうした事例はなかなか話題になりません。

そこで、防御の成功事例を業界内で情報交換する、あるいは社内で不審なメール攻撃を防いだ従業員の情報を共有してモチベーションや意識を高めることで、セキュリティ対策の推進につなげやすくなります。セキュリティを担当するIT部門にとって、社内、社外との情報連携がますます重要になるでしょう。

→佐々木 勇人氏による今回のポイント

- 企業規模、業種業態に関係なくサイバー攻撃の対象が拡大
- 攻撃の入口となるVPN機器やアカウントやIDなどの管理を徹底
- 業界や地域と連携した対策やインシデント対応が効果的

FINET INFORMATION

ファイネットインフォメーション



ファイネット手続きサイトをリニューアルしました

ファイネット手続きサイト(以下、手続きサイト)を2025年7月30日に、リニューアルしました。デザインを全面的に刷新し、より操作がしやすいインターフェースに改善しております。

ホーム画面にはメインメニューの他、利用頻度の高いメニューをまとめた「よく使うメニュー」や、作業目的に合わせて操作をまとめた「目的に合わせて探す」といった操作メニューを新たに設けました。これにより、目的や業務に応じて直感的

に操作できるようになりました。

次ページで、新しい機能や従来からある便利な機能についてご紹介いたします。

また、手続きサイトのリニューアルに当たり、URLを以下に変更しております。ブラウザでブックマーク、お気に入り登録されている場合は、再登録をお願いします。

手続きサイトの新URL <https://member.finet.co.jp/fts/>



チャットサポートやヘルプデスクの問い合わせ先が表示されます

メインメニューです

利用頻度が高いメニューが表示されます

目的別のメニューが表示されます

チャットサポートをご活用ください

「操作方法が分からない」など、お困りごとの助けになるのがチャットサポートです。よくある質問とその答えをFAQ方式でまとめており、困りごとを即時解決することができます。FAQで解決できなかった場合は、有人チャットでの対応も可能です。

チャットサポートと有人チャットへの問い合わせは、手続きサイトの右上にある「お問い合わせ」の中にある「チャットでのお問い合わせ」をクリックしてください。

ファイネットでは、チャットサポートの他、オペレータとの通話、メールでの問い合わせなど多様なチャネルを用意しております。お困りごとの際は、お気軽にご利用ください。

請求書の受領方法変更 & 新機能「請求書メール添付」


[登録者サイトへ](#)

[人](#)
[\[戻る\]](#)
[お申し込み状況](#)
[マイメニュー](#)
[お問い合わせ](#)
[ログアウト](#)

[請求書閲覧方法変更](#)

[請求書送付方法でログインする](#)

変更対象の請求情報

請求コード	請求者名称	受領方法	請求者内務メールアドレス	通知メールアドレス
999999	000000 株式会社	郵便・ダウンロード	abc@example.com	通知しない

請求書送付方法

☒ 請求書送付方法を変更する

☒ ダウンロード
 ☐ 郵便・ダウンロード

ダウンロード

- ・請求データダウンロード機能から請求データをダウンロードいただけます。
- ・請求データダウンロード機能から請求データをダウンロードいただけます。

通知設定

通知メール設定 ☒ 通知する

請求書印刷オプション ☒ 実行する

通知メール設定

請求書印刷オプション

- ・請求データダウンロード機能から請求データダウンロード機能から請求データをダウンロードいただけます。
- ・通知メールに請求書（PDF）を添付いたします。通知メール設定が「通知する」の場合のみ実行可能です。

通知メールアドレス ☒ 入力する

メールアドレス

メールアドレス

メールアドレス

メールアドレス

メールアドレス

メールアドレス

通知メールの増減を指定できます。（最大3行）

請求書送付方法の右に追加したい場合はこちらにメールアドレスを入力してください。

戻る

申し込み履歴画面へ

リニューアルした手続きサイトでは、請求書をダウンロード
できるだけでなく、請求書受領方法のメンテナンスが可能にな
りました。

請求書の郵送を停止したいユーザーは、手続きサイトで受領方法を「ダウンロード」に変更することで、次回以降の郵送が停止され、ダウンロードのみで請求書を受け取ることができます。請求処理のペーパーレス化・電子化にお役立てください。

なお、請求書のダウンロードは、請求担当IDにてログインいただき、ホーム画面で「請求書を確認する」をクリックすることで、従来通り過去3カ月分の請求書のダウンロード及び請求内容の確認が行えます。

さらに、手続きサイトのリニューアルに伴い、「メール添付」による請求書の受領が可能になりました。

メール添付は、請求書が作成された旨を通知するメールに、請求書のPDFファイルが添付される機能です。通知メール設定と請求書添付オプションを設定することで、ご利用いただけます。

この請求書を添付した通知メールは、請求担当者に加え、最大5宛先まで送信することができます。社内共有や、請求書受領代行サービス事業者への請求書送付にご利用いただけます。

便利な機能のご紹介1 ～送受信状況照会～

[illegible]

送受信状況照会は、自社の送受信状況及びデータ交換を行う相手先の送受信状況を把握できる機能としてご利用いただいています。このたびのリニューアルでは、機能はそのままに、デザインとインターフェースを一新いたしました。画面が見やすくなり、操作性が向上しています。メインメニューの「送受信状況を確認する」や、よく使うメニューからご利用ください。

便利な機能のご紹介2 ～接続テスト～

[illegible]

ホスト接続のユーザーは、相手先企業とのデータ交換の前に、ファイネットVANとの接続テストを行えます。

通信拠点の追加や更改(通信手順の変更、通信設定の追加、通信機器の入れ替えなど)の際には、必要に応じて接続テストを実施してください。

接続テストを実施される際は、手続きサイトから実施申込とテスト結果の確認をお願いいたします。

接続テストで利用する送受信データは、ダミーデータやフォーマットに準拠したデータなどをご利用いただけます。さらに、受信データは、過去に受信したデータをテストでご利用いただけます。

登録情報の更新をお願いします

ファイネットではデータ送受信などのトラブル発生時や機能追加などの際、あらかじめ登録された担当者にメールや電話でご連絡しています。異動などで担当者変更になった場合、登録情報の最新化をお願いします。ホーム画面の「登録状況を確認する」から操作が可能です。

FINET ANNOUNCEMENT

ファイネットアナウンスメント

FINE FINETの送付先等の変更について

ご送付しております「FINE FINET(ファイン・ファイネット)」の宛名や部数の変更等がございましたら「FINE FINET送付先変更(受付)」フォームよりお申し込みください。

お申し込み完了後、受付完了メールを申請者情報にご登録いただいた宛先に送信いたします。

なお、お申し込み内容に確認事項がある場合はヘルプデスクより別途ご連絡差し上げます。

「FINE FINET送付先変更(受付)」フォーム



URL <https://member.finet.co.jp/fts/ffcr>

※手続きサイトリニューアルに伴いURLが変わりました



「FINE FINET送付先変更(受付)」フォームへは次の弊社Webサイトからアクセスいただけます。

コーポレートサイトの広報誌「FINE FINET」ページ

URL <https://www.finet.co.jp/finefinet/>

※こちらのページで最新号からバックナンバーまで御覧いただけます

※最新号掲載欄の右下にリンク「冊子版の送付先変更はこちら」がございます

「手続きサイト」ログインページ

URL <https://member.finet.co.jp/fts/>

※ログイン画面右側の「ヘルプデスク」のご案内欄にリンク「FINEFINET送付先情報変更はこちら」がございます

FINE FINETは各サービスのご利用窓口として登録いただいている方宛てにも送付しています。

ご利用窓口の変更に伴い送付先も変更しますので、ご利用窓口情報の変更や担当者変更につきましては、「手続きサイト」から登録情報の更新をお願いします。

お問い合わせ先

ファイネット
ヘルプデスク

0120-091-094 (年中無休7:30~23:00)

森井ユカの



スーパーマーケット 漫遊記

（いつか見た海外の日常風景 とびきりフレッシュなピーナッツバター）

東京・港区の麻布十番、広尾周辺には駐在員が多く生活し、そのためスーパーマーケットもバラエティに富んでいる。中でも個性的で見応えがあるのが広尾の「ナショナル麻布」。まさに大使館職員や海外ビジネスパーソンのために1962年にオープンした、その名の通りインターナショナルなスーパーだ。

店内に入ると英語で書かれたPOPに迎えられ、商品自体も見慣れないものが多い。筆者もたびたび訪れて海外旅行気分を味わいつつ、じっくりと見て回る。ノルウェーの茶色いチーズ、スペインの陽気な色使いのミネラルウォーター、英国の華やかな箱のハーブティーなど、心

が躍る。

中でも初めて訪れた時に目を奪われたのが、ピーナッツバターのマシン。自分でピーナッツをマシンに入れ、スイッチを押せば、素晴らしい香りのフレッシュなピーナッツバターがその場でできあがる。以来、1年に1度はここに買いに来ている。自宅用だけではなく、味にこだわる友人へのお土産にも最適だ。プレーン、ハニー、チョコの3種類のピーナッツ、アーモンド、カシューナッツのバターを作ることができる。筆者が買うのはいつもプレーンなピーナッツバターなので、必要に応じてハチミツをプラスしている。ピーナッツバターはハンバーグなど

の肉料理にちょっと添えるとコクが増す。ごま油と醤油でのばして山椒粉をふると、中華風な麺のソースにもなる。もちろんそのままクラッカーにつけることもあるし、思いつきでプラスして新たな料理を作り出してしまうこともある。

薄い食パンにピーナッツバターをさっとひと塗りし、三角に切ってワックスペーパーに包み、リンゴと一緒にランチボックスに入れる……そんなシーンを米国の映画やアニメで何度観たことか。子供の頃に憧れていた、異国の何気ない日常に地下鉄で訪れることができる。忙しくて旅行に行けないときに頼りになるスーパーマーケットだ。



NATIONAL AZABU SUPERMARKET

住 所 東京都港区南麻布4-5-2
電 話 03-3442-3181
営業時間 9:00~20:00
定 休 日 1月1日~3日

文＝ 森井ユカさん

立体造形家、雑貨コレクター。小さいものを作ることと愛でることを仕事にしている。著書に『おいしいご当地スーパーマーケット』『地元スーパーのおいしいもの、旅をしながら見つけてきました。47都道府県!』（どちらもダイヤモンド社刊）など多数。全日空『翼の王国』に「ニッポン47妖怪さんぽ」を連載中。

